

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	27712000314
法人名	郵券会社エイトサービス
事業所名	グループホーム熊取
訪問調査日	平成 19 年 8 月 15 日
評価確定日	平成 19 年 9 月 20 日
評価機関名	NPO法人 ナルク福祉調査センター

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 8月18日

【評価実施概要】

事業所番号	2771200314
法人名	有限会社エイトサービス
事業所名	グループホーム熊取
所在地	大阪府泉南郡熊取町五月ヶ丘2丁目18-9 (電話) 072-451-0810

評価機関名	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ		
所在地	大阪市中央区常盤町二丁目1番8号親和ビル402号		
訪問調査日	平成19年8月15日	評価確定日	平成19年8月20日

【情報提供票より】平成19年8月1日

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年11月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	22 人	常勤 6人, 非常勤 16人, 常勤換算 7.1人	

(2) 建物概要

建物構造	木造瓦造り		
	2 階建て	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	26,250 円
敷金	236,250		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	1,050		

(4) 利用者の概要(8月15日現在)

利用者人数	13 名	男性 5 名	女性 8 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名
要介護3	6 名	要介護4	2 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢	平均 83	最低 60 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	河崎病院 西村歯科
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業主体は有限会社エイトサービスである。8つのグループホームを展開しておりグループホーム熊取はその1つである。当ホーム社員寮を増改築したもので外観はアメリカン住宅風である。玄関へのアプローチは広く建物の前面は憩いの場の様な設えで、遠くに犬鳴山を望み緑豊かな環境の中にある。裏には竹林があり春にはたけのこ狩りが催され、たけのこ御飯を炊き旬の料理を味わっている。建物内は全体にゆったりとした空間が取られ各居室も広く、階段には昇降リフトが設置されている。ホームの理念は法人理念とは別に、「ともに笑い、ともに感じ、ともに歩む」ということで、熊取グループホームの独自性を出している。月1回のミーティング時にはその意味を検討して職員全体で前向きに取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善提案の一つ、理念の掲示小さく目に付き難かったのが、文字も大きく目に付き易い場所に掲示されている。食事を家族の立場として共にする工夫は、一緒に準備をして週1回お菓子やおやつ作りなどを行っているのが、共に食事をする事に対しても、前向きに取り組んで行かれる事を望む。金銭管理は領収書添付などにより改善されている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	サービス評価の意義を理解し、職員会議で評価項目の1番から順番に検討を重ね討議している。自己評価によって改善案を打ち出し利用者や家族が安心出来るよう取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4、5、6)
	町役場担当者や自治会、民生委員にコンタクトはとっているが、運営推進会議を開催するには至っていない。より積極的な働きかけで運営推進会議が開催できるよう、早急な取り組みが望まれる。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7、8)
	介護相談員の訪問が月2回あり、意見箱も設置されている。家族の面会時には不満や苦情要望等聞き、ホームの運営に役立っている。玄関入り口には、入居者の行事の参加や活動の様子がわかる写真が貼られ、理解が得られる取り組みがされている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目⑥	毎日の散歩で隣近所の方と挨拶を交わし親しくなった方は、親子連れで遊びに来られている。納涼祭にはボランティアや近隣の方々が来られ、ボールすくいなどして活気に溢れた交流の場となっている。ホームが孤立することのないよう、更に保育園との交流、地域とのかかわりを積極的に進められることが望まれる。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとして、何が大切かを皆で考え、理念を作り上げている。「ともに笑い、ともに感じ、ともに歩む」		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティングでは、職員全員で理念を確認し合い、日々のケアに当たるようにしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所の納涼祭などに地域の方々や子ども達に参加、ボランティアなどにも加わってもらっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の目的、意義を職員全員に伝え、自己評価を全員で行い、改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を行うべく行政・自治会等に働きかけるが調整が取れず未実施となっている。	○	運営推進会議は、外部の人々の目を通して事業所の取り組みや改善課題を話し合うのに必要不可欠である。近々中の実施を望む。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町役場窓口での相談の他、月2回の介護相談員の訪問を受け、意見交換、サービスの向上に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族の来訪時には、担当スタッフから写真やたよりを見て頂いたりして暮らしぶりを報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の来訪時には、何でも言って頂ける雰囲気作りに努め、出された意見はミーティングで話し合っている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	各ユニットの職員配置は固定化し顔馴染みの職員によるケアを行っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所外での研修は毎月のミーティングの場で報告、研修内容を全員が共有出来るようにしている。事業所内の研修は2ヶ月に一度実施し、意見交換している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域内でのグループホームとは連絡を密にし情報交換、サービスの向上を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人に納得の上入居してもらうために短時間過ぎて頂き、徐々に馴染めるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人に合った役割や出番を見つけ、家事など常に職員と利用者と一緒に作業するように心がけている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で話している内容や訴えの中から気持ちを察し意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人やご家族と日頃かかわっている中で思いや意見を聞き介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の遂行状況を見ながら、状況変化やご本人ご家族の要望に応じて、その都度見直しを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制により本人にとって負担となる受診や入院の回避、早期退院の支援、医療処置を受けながらの生活の継続を支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人およびご家族同意の上、事業所の協力医療機関の医師をかかりつけ医としている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人、ご家族の意思を確認し、早い段階から話し合い、方針を共有し終末期ケアに取り組んでいる。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの性格を理解、さりげない言葉掛けや対応に配慮している。なおプライバシー保護の徹底を図るため、職員の誓約書も取っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせ余裕を持って接することが出来るよう職員の体制作りを行い、個別性のある支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛りつけや後片付けは、利用者と職員が一緒に行っている。また、時には近隣で取れる旬の物を取り入れたり、毎土曜日には、たこ焼き、ホットケーキなどおやつ作りを共にしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	安全面を考慮して、日中の入浴を主に置いているが、希望者へは時間、曜日を変更して対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日の生活を共にしていく中で、それぞれの生活歴を元にして、一人ひとりの力を発揮して貰えるよう役割を持った生活の支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣の散歩は日課にしているが、それだけに止まらず、催し物や花見、外食、買い物など戸外に出る機会を多く作っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員の目の行き届く時は出来るだけ鍵を掛けないで、利用者が外出しそうな場合、止めるのではなく、さりげなく声を掛けたり、ついて行く等自由な行動が出来るよう支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災や地震等災害時の避難訓練が実施されていない。	○	早急にマニュアルの作成をし、利用者と共に避難訓練を実施、避難できる方法や体制作りをして欲しい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの栄養摂取量や水分量は毎日チェック記録している。水分補給は画一的に行うのではなく一人ひとりの好みに合わせて牛乳、炭酸水等に置き換えるなどして支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	近くの野山で取った季節の花を飾ったり、心地よいBGMを流すなどして、居心地の良い空間造りに努めている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	その人らしい居室造りのため使い慣れた物の中で生活できるよう、本人やご家族と話し合い持ってきて頂き、心地よい雰囲気作りを行っている。		